臨床神経学 (後期)

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	理学
<b>分村 徹</b>	開講時期	前後期	必修·選択	必修
	単位数	前後期通算2単位	時間数	前期15後期30

|後期の授業では,前期で学んだ神経科学の考え方をもとに神経疾患の学習を進める.臨床現場では,神経科学の知識に基く論理的な病態理| |解とともに,患者の臨床像を症候群的に把握する能力も重要である.後者の学習のために,症候学や診察検査法と疾患各論をできるだけ関 |連させて授業を進める.

## 【<学習目標>】

代表的な神経疾患について、神経科学の知識に基く論理的な病態理解と、臨床像の症候群的理解の両者を身に付けることが目的である。

回		授業計画又は	・学習の主題			
数	DANI HAIO HAIL				学習方法・学習課題又は備考	
		以下の主題について計14 具体的な日程は改めて通	回の授業を行う予定である. 知する.		担当教員:今村	徹
		臨床症候群という考え方 筋疾患 神経筋接合部疾患				
		末梢神経疾患 神経根疾患と脊髄疾患				
		脳幹疾患 小脳疾患 大脳基底核疾患				
		痴呆と高次機能障害 脳血管障害				
		頭部外傷神経系統疾患(運動ニュ・	ーロン疾患,脱髄疾患など)			
	【使用図書】	<書名>	<b>&lt;著者名&gt;</b>	<発行所>	<発行年・	価格・その他>
	教科書	簡要神経学	岩田誠,岩田淳訳	MEDSI	2000年. 3800円.	ISBN: 4-89592-249-9
	参考書					

₽ 7 B		
その他の資料	適宜配布する	
【評価方法】 定期試験による.		【履修上の留意点】 言語聴覚学科『臨床神経学』,作業療法学科『神経内科学』』と同一の授業内容である。